平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月12日

上場会社名 株式会社富士ピー・エス　　上場取引所　東 福
コード番号 1848　URL http://www.fujips.co.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 菅野 昇孝
問合せ先責任者　(役職名) 執行役員経理部長　(氏名) 梅林 洋彦　TEL 092-721-3464

四半期報告書提出予定日　平成26年2月13日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	15,207	14.4	332	136.6	327	163.8	718	628.4
25年3月期第3四半期	13,289	―	140	―	124	―	98	―

(注)包括利益　26年3月期第3四半期　718百万円　(642.0%)　25年3月期第3四半期　96百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	40.51	―
25年3月期第3四半期	5.56	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第3四半期	16,341	5,353	32.8	302.06
25年3月期	15,741	4,679	29.7	264.01

(参考)自己資本　26年3月期第3四半期　5,353百万円　25年3月期　4,679百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	―	0.00	―	2.50	2.50
26年3月期	―	0.00	―		
26年3月期(予想)				5.00	5.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　有
平成26年3月期(予想)期末配当金の内訳　普通配当　2円50銭　記念配当　2円50銭
配当予想の修正については、本日(平成26年2月12日)公表いたしました「平成26年3月期配当予想の修正(創立60周年記念配当)に関するお知らせ」をご参照ください。

3. 平成26年 3月期の連結業績予想(平成25年 4月 1日～平成26年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,960	20.3	365	149.8	355	195.8	730	652.0	41.19

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　有
連結業績予想の修正については、本日(平成26年2月12日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
②①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期3Q	18,602,244 株	25年3月期	18,602,244 株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	878,943 株	25年3月期	878,193 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期3Q	17,723,885 株	25年3月期3Q	17,724,259 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 2
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 2
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 7
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 8
（継続企業の前提に関する注記） …… 8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 8
（セグメント情報等） …… 8

１．当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

（１）経営成績に関する説明

当第３四半期連結会計期間におけるわが国経済は、政府による経済政策や金融政策などの期待感を背景に円安・株高が進行し、企業収益の改善や個人消費の持ち直しが見られるなど、景気は緩やかな回復傾向で推移しました。

当建設業界におきましては、緊急経済対策による公共事業の執行や復興需要の下支えなどにより政府建設投資は引き続き増加傾向で推移し、消費税率引き上げに伴う住宅・マンションの駆け込み需要などにより民間建設投資も緩やかな回復基調が継続しております。

しかしながら、現在直面している技術者・技能労働者不足に伴う労務費の上昇や資材の高騰に対処するために、今後は市場動向を見据えた企業経営が求められます。

この様な状況の中で、当社グループは安定経営、成長経営の実現を目指し、選別受注の徹底、生産・施工の効率化、事業分野の拡大などを推進し、全社総力を挙げて営業活動を展開いたしました。

以上の結果、当第３四半期連結累計期間の業績につきましては、受注高は16,446百万円(前年同四半期比5.0%減)、売上高は15,207百万円(前年同四半期比14.4%増)となりました。損益面では営業利益332百万円(前年同四半期比136.6%増)、経常利益327百万円(前年同四半期比163.8%増)、四半期純利益718百万円(前年同四半期比628.4%増)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

当社グループの主力である土木事業におきましては、公共投資等が増加に転じていることから、総合評価落札方式への徹底した対応の強化に努めました。また、連結子会社の㈱シーピーケイの事業活動もおおむね順調に推移いたしました。

この結果、受注高は9,103百万円(前年同四半期比28.3%減)、売上高は9,491百万円(前年同四半期比5.0%増)、セグメント利益は756百万円(前年同四半期比4.9%減)となりました。

建築事業におきましては、回復傾向にあるマンション事業や政府が推進する学校施設等の耐震補強事業の営業強化に努めました。

この結果、受注高は7,104百万円(前年同四半期比61.8%増)、売上高は5,539百万円(前年同四半期比36.0%増)、セグメント利益は984百万円(前年同四半期比69.9%増)となりました。

不動産賃貸事業におきましては、テナント獲得の競争激化や賃料値下げ要請など厳しい市場環境が継続しておりますが、事業の安定化を目指し営業活動を展開いたしました。

この結果、受注高は231百万円(前年同四半期比1.5%減)、売上高は172百万円(前年同四半期比2.3%減)、セグメント利益は47百万円(前年同四半期比47.6%減)となりました。

（２）財政状態に関する説明

資産・負債及び純資産の状況

当第３四半期連結累計期間の資産合計は、受取手形・完成工事未収入金等の増加等により、前連結会計年度末と比べ600百万円増加し、16,341百万円となりました。

負債合計は、未成工事受入金及び課徴金等引当金等の減少により、前連結会計年度末と比べ73百万円減少し、10,988百万円となりました。

純資産合計は、当第３四半期連結累計期間が純利益となったことから前連結会計年度末と比べ674百万円増加し、5,353百万円となりました。また、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ3.1ポイント上昇し、32.8%となりました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、本日(平成26年２月12日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成25年12月31日）
資産の部		
流動資産		
現金預金	2,051	1,590
受取手形・完成工事未収入金等	6,533	7,331
未成工事支出金	430	360
製品	162	173
材料貯蔵品	105	129
未収入金	185	269
その他	25	377
貸倒引当金	△4	△5
流動資産合計	9,489	10,227
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物（純額）	1,663	1,587
機械、運搬具及び工具器具備品（純額）	798	735
土地	3,371	3,371
リース資産（純額）	0	4
建設仮勘定	－	7
有形固定資産合計	5,833	5,705
無形固定資産		
のれん	166	152
その他	7	8
無形固定資産合計	173	161
投資その他の資産		
投資有価証券	116	119
その他	134	130
貸倒引当金	△6	△3
投資その他の資産合計	244	247
固定資産合計	6,251	6,113
資産合計	15,741	16,341

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成25年12月31日）
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	5,446	6,377
短期借入金	926	726
未払法人税等	46	51
未成工事受入金	1,077	646
預り金	578	867
完成工事補償引当金	16	13
工事損失引当金	27	13
その他	378	391
流動負債合計	8,498	9,087
固定負債		
長期借入金	648	585
退職給付引当金	1,068	1,079
課徴金等引当金	606	－
その他	240	236
固定負債合計	2,563	1,901
負債合計	11,061	10,988
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,379	2,379
資本剰余金	1,711	1,711
利益剰余金	921	1,595
自己株式	△334	△334
株主資本合計	4,677	5,351
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1	2
その他の包括利益累計額合計	1	2
純資産合計	4,679	5,353
負債純資産合計	15,741	16,341

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年12月31日）
売上高	13,289	15,207
売上原価	11,824	13,419
売上総利益	1,465	1,788
販売費及び一般管理費	1,324	1,456
営業利益	140	332
営業外収益		
物品売却益	6	11
その他	9	8
営業外収益合計	16	20
営業外費用		
支払利息	22	13
支払保証料	7	9
その他	3	2
営業外費用合計	32	25
経常利益	124	327
特別利益		
固定資産売却益	11	10
投資有価証券売却益	3	－
課徴金等引当金戻入額	－	401
その他	－	24
特別利益合計	14	435
税金等調整前四半期純利益	138	763
法人税、住民税及び事業税	40	45
法人税等調整額	－	－
法人税等合計	40	45
少数株主損益調整前四半期純利益	98	718
少数株主利益	－	－
四半期純利益	98	718

（四半期連結包括利益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年12月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益	98	718
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1	0
その他の包括利益合計	△1	0
四半期包括利益	96	718
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	96	718
少数株主に係る四半期包括利益	－	－

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

Ⅰ　前第３四半期連結累計期間（自平成24年４月１日 至平成24年12月31日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他（注）１	合計	調整額	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	土木事業	建築事業	不動産賃貸事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	9,038	4,073	177	13,289	0	13,289	－	13,289
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－	－	－	－
計	9,038	4,073	177	13,289	0	13,289	－	13,289
セグメント利益又はセグメント損失（△）	795	579	91	1,465	△0	1,465	－	1,465

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、建設資機材のリース等であります。

２．セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書計上額の「売上総利益」と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ　当第３四半期連結累計期間（自平成25年４月１日 至平成25年12月31日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他（注）１	合計	調整額	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	土木事業	建築事業	不動産賃貸事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	9,491	5,539	172	15,204	3	15,207	－	15,207
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－	－	－	－
計	9,491	5,539	172	15,204	3	15,207	－	15,207
セグメント利益	756	984	47	1,788	0	1,788	－	1,788

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、建設資機材のリース等であります。

２．セグメント利益は、四半期連結損益計算書計上額の「売上総利益」と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。